



元寇記念之碑(長崎県松浦市)

私が住んでいる長崎県松浦市の鷹島町は鎌倉時代に2度起きた元寇(1274年の文永の役、1281年の弘安の役)特に弘安の役では14万人・4400隻の船団で伊万里湾の入り口に位置する鷹島沖に台風をよけるために避難しましたが、大暴風のために大半が壊滅状態になり、よく言われる神風のおかげで日本は救われました。

私も家の前になりますのでいつも目にしております。その元寇の海底遺跡調査が1980年代から行われており、蒙古襲来絵詞でお馴染みの「てつはう」の現物が初めて発見されたり、1トン位と言われる2石型の大いかりや貝掘り中に発見されたモンゴルの当時のパスバというお坊さんが作った文字で出来た管軍総把印も発見されました。私も34年前にモンゴル訪問しましたがウランバートルの博物館で4個ほどパスバ文字の印鑑が展示されているのを見て、当時鷹島でも話題になっていましたので、本当に驚いたのを覚えています。

そうした元寇の遺物は昔から漁師さんの網にかかったツボ類をはじめ、陶磁器や武器、生活用品等4000点以上採集され市の埋蔵文化財センターに展示、保管されています。

そして1号沈没船が発見されてから2012年には海底遺跡としては日本で初めて国指定を受けた鷹島神崎遺跡が誕生しました。

3年前には一石型いかりの引き上げにクラウドファンディングにより、1100万円以上の基金が集まり全国的に知名度が広がったのを、私も日曜日だけ埋蔵文化財センターに勤めていますので感じております。

昨年は3隻目の船が確認されていますし、もつと国が韓国のように本格的に力を入れてもらえれば、まだまだ貴重な大発見があると期待しています。

元寇の鷹島

松浦市歴史観光推進協議会 副会長
貞方 清寛



春の白い花吹雪 ヒトツバタゴ



鷹島の西側海岸に面した海浜キャンプ場「オアシス村」。モンゴル風のテント(ゲル)にも泊まれ、オートキャンプ設備やトイレ・シャワー室なども完備してこれからオンシーズンに入りますが、今からもう一つの見どころがヒトツバタゴの群生です。

雪のように純白な花が木を覆うこの景観。もともとは大陸から伝わった対馬の花で、37年前にキャンプ場オーナーの森さんがここに3本の苗木を植え、その後年々増えて今では60本にもなったとか。春に降る雪のようなみことな景観が、4月20日あたりからGW頃まで楽しめるほか、八重桜やツツジも見ごろを迎えます。

●お問い合わせ
オアシス村
TEL 090-6292-1684(森)

九州電力からのお知らせ

佐賀県・福岡県・長崎県主催の原子力防災訓練に参加しました。

2024年11月30日、佐賀県、福岡県、長崎県主催の原子力防災訓練が実施され、当社では、本店および玄海原子力発電所に対策本部を設置し、住民の皆さまの避難判断のための通報や発電所の事故収束など、様々な訓練を実施しました。

今回は、緊急時対策棟運用開始後(2024年10月運用開始)、初の訓練となりました。

今後も、訓練を積み重ね、原子力防災対策の向上にしっかりと取り組んでまいります。



訓練風景

玄海町園児によるサツマイモの収穫体験を行いました。

2024年10月9日および15日、玄海町次世代エネルギーパークあすびあ内のふれあい農園で、玄海町のあおば園とふたば園の園児によるサツマイモの収穫体験を開催しました。

園児たちは、小さな体に力を込めてサツマイモを引き抜くと大歓声を上げ、先生たちに嬉しそうに見せていました。



あおば園の園児たち



ふたば園の園児たち

玄海エネルギーパーク



「春のKidsイベント」開催のお知らせ

玄海エネルギーパークでは、「春のKidsイベント」を開催いたします。ビンゴゲーム大会や子供縁日、手彫りガラス工芸などを準備しています。キッチンカーも出店します。皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

2025年3月9日(日)

時間 9時~16時

場所 玄海エネルギーパーク
(佐賀県東松浦郡玄海町)

主なイベント

- ・ガラスリッツェン教室(手彫りガラス工芸)
- ・ビンゴゲーム大会
- ・クイズラリー
- ・ドローン体験
- ・縁日(サイコロゲーム、輪投げ)
- ・キッチンカー出店

詳しくは
玄海エネルギーパーク
公式サイトへ



●ビンゴゲーム大会

※2回開催
(11時~、14時30分~)
各回先着200名



縁日
(輪投げ・サイコロゲーム)



●ガラスリッツェン教室(手彫りガラス工芸)

ガラスに絵を彫ってマイグラスをつくろう!
対象:小中学生
9回実施/各回先着13名(当日受付)



キッチンカー出店/

島の魂を受け継いで、今年も結束高めます！

中学生も参加の行事「せいぐろ」

子どもの成長を願って、各地で行われる様々な行事。この鷹島では、約750年前の「元寇」にもまつわる「せいぐろ」が伝承されてきました。島ならではの強い絆を、子どもたちはここで学んでいます。



「せいぐろ」を楽しむ鷹島中学校の生徒たち。

何世紀にもさかのぼるか海とともに生きてきた島の歴史

毎年5月5日の「こどもの日」。鷹島の北部・阿翁浦漁港では、木造の舟数隻が速さを競う「せいぐろ」が行われます。

舟に乗るのは、島内の大人や中学生たち。漁協青年部や職員、消防団、市議会議員、市役所や学校の教職員、中には女性陣の舟も交じって、岸辺からの歓声を受けながらみな力の限りに櫓をこぎます。

さかのばれば「せいぐろ」の歴史は古く、鎌倉時代の元寇に由来するともいいます。モンゴル帝国の襲来を受け、当時の西の浦港（今の阿翁浦）から小舟をこぎ出して夜討ちをかけた名残りという説や、当時の若者たちが「端午の節句」に櫓さばきを鍛えた風習説などもあります。江戸後期（安政年間）には今の「せいぐろ」の呼称で行われた記述があるため、実に160年以上にわたる



地域との大切な交流の場にもなっている。



歴史を持ちます。平成5年には旧鷹島町の無形民俗文化財に指定され、平成21年に改めて市の指定を受けました。

ちなみに「せいぐろ」の語源は、「勢（せい）を競う」（比べる→ぐろ）。海を挟んだ対馬にも舟をこいで競い合う「舟グロ」という行事が伝わっており、通じるニュアンスもあるようです。

力を合わせて暮らしてきた島の子どもの熱意は今年も

大人に混じって櫓を握るのは、鷹島中学校の生徒たち。子どもの成長を願う「端午の節句」ならではの、中学生になるとこの「せいぐろ」に参加できるとみな張り切る



お話を伺った鷹島中学校の嶺石教頭先生。

そうです。

鷹島中学校の嶺石教頭先生も、自ら舟に乗りながら生徒たちを見守る一人。

「コロナ禍前は事前に練習するチャンスもありましたが、3年間中断したため一昨年再開後はぶつけ本番。初めての櫓こぎで苦心しながらも、みんな精一杯こぎ切りました」

中学生組は1隻に7〜8人乗り、介添えの大人とともに、湾の先に浮かぶ旗をめがけてこぎ出し、旗を取って戻ります。

昨年は中学生4チームと大人14チームが出場。優勝したのはさすが漁協の青年部で、3分26秒という驚異のタイムでした。中学生たちは6分台や7分台でしたが、きつと「大きくなったらあの兄ちゃんたちみたいに速くたくましく……」と胸に刻んだことでしょう。

保存会の役員・近藤幸広さんも、以前は櫓こぎを競い合ったベテラン。

「16年前に橋が架かって陸続きにはなりましたが、島というのは昔からみんなで協力して暮らし、いざというとき助け合ってきたもの。子どもたちもせいぐろの歴史を力にして、これからたくましく成長してほしいですね」

今年のこどもの日。鷹島の歴史が込められた行事を見物に、出かけてみませんか。

●お問い合わせ
松浦市鷹島阿翁浦地区事務所
TEL 0955-48-2911
（平日の午前のみ対応可）

百済武寧王がつなぐ絆

加唐島で誕生 古代から交流

19

日韓を「近くて近い」国へ 皆の汗と涙が明日につなぐ

日本最初の正史『日本書紀』に百済武寧王が筑紫の各羅から島で誕生と記され、また加唐島には「この島は朝鮮の偉か王様の生まれした島ばい」という伝承が残るも、韓国ではそれを日本側の恣意的な話だと一蹴。そこから始まる物語です。加唐島の武寧王生誕地記念碑の前に立ち、私たちの日韓交流の足跡を辿って明日への糧にしていきたいと思えます。

終戦後、1952年の玄界灘にはイワシが豊漁といえども李承晩ラインがあり、日本漁船の拿捕事件がたびたび起こって日韓関係は厳冬の時代でした。また名護屋城と韓国との関係をどうするか、町議会はその対策に腐心。そこで私たちは1970年に「鎮西町史跡を護る会」を結成し、文化庁より文化財愛護モデル地区の指定を受け、名護屋城の史跡整備や町の歴史を発信する活動を始めました。

1971年、韓国公州市の宋山里古墳群から武寧王陵が発見されたというニュースが飛び込みます。日本書紀の記述を裏付ける大発見です。私たちはこの知らせに勇気百倍をもらいました。鎮西町役場庁舎改築に当たっては桃山文化と百済文化の融和をモットーに、玄関ホールに肥前名護屋城図屏風を大きく掲示。1988年には陶芸家を中心に「サバルロード」（陶磁器の道）が立ち上がり日韓交流をスタート。その後、私たちは本会（まつろ・百済武寧王国際ネットワーク

ワーク協議会）の前身「武寧王生誕記念碑建立発起人会」を発足したのです。そして21世紀に入るや交流は加速し、公州市の市民との契り、さらには同じく武寧王との縁えにしがあたる大阪府羽曳野市ともつながりました。2015年、九州国立博物館では「古代日本と百済の交流」を開催。その紀要『東風西声』の論文によつて、加唐島（各羅島）のオビヤ浦が武寧王の生誕地に比定されました。また大きな役割を果たしたのが、「日本列島と朝鮮半島との交流史」を常設展のメインテーマにした佐賀県立名護屋城博物館です。そして幾多の困難を撥ね除けた日韓交流団体の汗と涙は、2006年に日韓の市民による資金で加唐島に武寧王生誕地記念碑の建立を果たしたことで結実したのです。

東に外交の道を開き、また室町時代まで日本とつながる種を蒔いた武寧王の記念碑の建立に際し、性格について喧々囂々けんけんこうこうの末、地域資源としたことが今大きく微笑み明日へとつなげています。

いま夜空には唐津の子どもたちが命名した「唐津、佐用姫、武寧王」の3つの星が私たちを照らして今後の交流を後押ししてくれそうです。今年は日韓国交回復60年。唐津市民が作詞した曲「ニリムセマ」（加唐島の思い出）が広く東アジアの世界に轟きわたるよう祈念します。

本会の2代目会長・浦丸護氏（公州市から名誉市民を授与）が昨年11月に91歳で逝去されました。功績の大きさに感謝し、謹んでお悔やみ申し上げます。



まつろ・百済武寧王
国際ネットワーク協議会
顧問 熊本 典宏
（唐津市鎮西町）

プロの味を 我が家に

家で簡単 ローストビーフ



材料（8〜10人分）

牛もも肉か肩肉400g
（厚さ5〜6cmのブロック）
塩4g
サラダ油少々

【ソース用A】

砂糖大さじ1
酒大さじ2
みりん大さじ2
しょうゆ大さじ2
酢大さじ2
おろし玉ねぎ大さじ3
おろしニンニク大さじ1/2

水溶き片栗粉少々

作り方

- 1 牛肉を冷蔵庫から出して室温に戻しておく。
- 2 先にソースを作る。【A】の材料をすべて混ぜ合わせる。
- 3 牛肉ブロック全体に塩をすり込み、熱したフライパンにサラダ油を引いて中火で表面を焼き付ける。
- 4 ジッパー付きのポリ袋に②と③を入れて、できるだけ空気を抜いて真空状態にする。
- 5 大きめの鍋にたっぷりの水を入れて④を入れ、アルミ箔で包んだ皿などで重しをして火をつける。表面に小さな泡がつかだしたら火を止める（約63〜65度くらい。温度計があればなおよい）。
- 6 火を止めて15分そのままにする。その後、汁は残したまま牛肉ブロックだけを取り出し氷水で冷やしてからスライスして皿に盛りつける。
- 7 袋内の汁を鍋に移して熱し、水溶き片栗粉でとろみをつけて⑥にかける。

唐津の名所「旧大島邸」や「唐津神社」にもほど近い、いけす和食料理「玄洋」。観光客をはじめ地元でも長く愛される店で、厨房を仕切るのが料理長の坂井広孝さんです。

唐津ならではの生きのいい魚やイカ料理に日々腕を振ります。唐津は佐賀牛の産地でもあり、佐賀牛の炙りなども人気メニュー。今回の「ローストビーフ」も坂井さんの自信作で、「オーブンがなくても、家庭で手軽に作れるレシピ」と提案していただきました。

ポイント は表面を焼き付けた後、



●玄洋
唐津市北城内1-16
TEL 0955-70-1500

ポリ袋での保温。低温調理なので、しっとりジュシーに仕上がります。春のおもてなしやお祝い事などにピッタリですね。